

空間転移システムの不
具合の影響で異世界か
ら来訪者が来てしまっ
たようです

じゅっぴー

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

Voiderが珍しく焦っていて各ヒーロー達にこう告げた

クウカンテンイシクテムニフグアイガオコリマシタイセカイカラダレカガクルトオモイマスノデ

ワタシガシヨリシオエルマデナカヨクシテアゲテクダサイと言われて

困惑中のヒーローにどんなキャラ達が来るんでしょうね

目次

第1の犠牲者はスライム？ | 1

第1の犠牲者はスライム？

Voidooll「クワシクセツメイデキテマセンガドウカワタシガシヨリシオエルマ
デガンバツテクダサイ」

まとい「わかったようちに任しときな」

テスラ「僕の発明でイタズラしちやおーと」

ビービービー空間転移システムが起動します

直ちに迎え入れる準備してください

アタリ「あれ？これにこんなアナウンスあったか？」

ルチアアノ「いいや私の記憶が正しければ無いぞ」

と会話した瞬間視界は真っ白になった

???「うーんなんだここはまさかまた異世界転生？」

空間転移システムからそんな声が聞こえた

リリカ「ここは#コンパスって言う場所だよ君はスライムなの？」

???「ああ俺の名前が俺の名前はリムルIIテンペスト

元の世界とか前の世界では魔王をやってるんだ」

アタリ「え？スライムが魔王？それはなんて言うゲームなんだ！」キラキラ
リムル「ああ魔王と言ってもゲームじゃないんだことは違う異世界だな」
ほえーと一同は声をあげた

リムル「ところでだこの話どう終わらせる気なんだ？」

一同「…オチ考えてねえ」

アタリ「おいおいどうすんだよこれ」

テスラ「ふふふあまりにも長引いたら僕の発明で強制終了させるからそういうメタイ
話しくなくてもいいんだよ」

ジャンヌ「テスラさんがそうおっしゃるのならオチは心配ないですね」

リムル「おおそうか大体どういうオチか想像つくがよろしく頼む」

テスラ「いいよ任せて」

リムル「俺からずらしてなんだがここは一体何をする場所なんだ？」

トマス「ここは赤、青の2チームに分かれて3対3のバトルをするところでございま
す」

リムル「ふむふむ」

トマス「ですが今回リムルさんは実装という形では無いのでバトルには出れないよう
ですな」

リムル「そうかー1度出てみたかったな」

マルコス「うーん観戦とかつてできないのか？」

ジャンヌ「確かできると思いますよ」

リムル「いや多分だけど今回試合場面入れられないと思うよ？」

一同「あつそうだな」

アダム「確かに試合で場面があれば面白みがでる」

ソーン「兄様言いたいことはわかりますそうここまでまともな文が書けていない」

ジャンヌ「迂闊でしたこれそういえば初投稿&テストでしたね」

リムル「そうだがここで提案がある」

メグメグ「なになに気になるー」

リムル「それはこれを糧にして作文の練習にすればいいと思う」

一同「天才だ」↑こいつら馬鹿である(という主も馬鹿である)

テスラ「みんな茶番してる所悪いけどオチの用意できたよ」

リムル「そうかみんなオチだ盛大に盛り上げよう」

テスラ「みんなごめん爆発オチじゃないんだ」

一同「ええええじゃあどうやってオチやるんだ」

テスラ「それはね」

